
～心音心電データを同時に取得し、解析・診断補助を目指す聴診器～ 「超聴診器」の臨床研究を開始します。

社会医療法人博愛会相良病院（鹿児島県鹿児島市、院長：相良安昭）は、心疾患診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器「超聴診器」を開発する AMI 株式会社（本社：鹿児島県鹿児島市 本店：熊本県水俣市、代表取締役 CEO：小川晋平）と委受託研究契約を締結し、超聴診器を使用した臨床研究を開始します。

「超聴診器」とは、心音心電データを同時に取得し、解析・診断補助を目指す聴診器です。

本研究は、心臓疾患の早期発見のための医療機器等の開発への使用や、国内の研究機関や企業の研究開発へのデータ活用のために、データを提供することを目的としています。本研究を通して、心音と心電に関する研究を広く進められるような仕組みを構築します。

なお、当該臨床研究は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が助成する「2020年度 AI チップ開発加速のためのイノベーション推進事業/【研究開発項目①】AI チップに関するアイデア実用化に向けた開発：事業名：心疾患自動診断アシスト機能搭載チップの実用化に向けたシステム開発」の一環で実施される予定です。

AMI 株式会社が取り組んでいる事業

AMI 株式会社は心疾患の早期発見を目標に「超聴診器（心疾患診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器）」を開発している医療系ベンチャーです。

聴診器は誰もが知っている医療機器の1つですが、200年以上大きな技術革新もなく医療従事者の経験と聴覚に頼らざるを得ないことが課題でした。そこで、AIを用いた心疾患の診断をアシストする機能の実装を目指すことにしました。心電と心音を同時に取得するハードウェアと心筋活動電位の発生タイミングをトリガーにして心音を解析するソフトウェアの開発や、全国の医療機関での多施設臨床研究を実施しています。

今後は AI 医療機器としての承認・上市はもちろんのこと、遠隔聴診対応ビデオチャットシステムと組み合わせることで、遠隔医療領域における社会実装への取り組みも進めています。

<AMI 株式会社の概要>

- ・商号 : AMI 株式会社
- ・代表者 : 小川晋平
- ・登録 : 医療機器製造業（登録番号 46BZ200014）
- ・許可 : 第二種医療機器製造販売業（許可番号 46B2X10006）
: 高度管理医療機器等販売業・貸与業（許可番号 指令 生衛薬 第 646 号）
- ・HP : <https://ami.inc/>

- 本リリースに関するお問い合わせ -

社会医療法人博愛会 相良病院 マーケティング部 広報室 TEL : 099-224-1811